

# 耐熱保護管メーカーの耐熱総合企業への発展を支援

会社名 有限会社比土工業  
 所在地 三重県伊賀市菖蒲池446-1  
 従業員 19名  
 資本金 300万円  
 売上高 2億円  
 業種 製造業



Before

- 耐熱保護管事業と溶融金属浸漬型計測機器事業の2つの既存事業と、新規事業である耐熱塗料事業の3事業のバランスをとりながら企業全体(耐熱総合企業)としての安定的な発展を図りたい。

After

## 支援を受けてできるようになったこと

- 耐熱塗料事業は、耐火製品の製造販売ビジネス及び受託加工(塗料化及び塗布)ビジネスの事業化可能性を模索した。耐火製品については、売上実績ができた。
- 耐熱保護管事業は、これまでの特許に加えた工法や新素材も含め、角度を変えた視点での出願を行う方針とした。
- 全社事業のブランディングを検討して商標を出願した。

Future

## 今後の事業展開の展望

- 耐熱塗料事業は、売り上げ実績ができた耐火製品以外の耐火製品についてビジネスを広げるとともに、受託加工ビジネスの立ち上げを図る。
- 耐熱保護管事業及び溶融金属浸漬型計測機器事業は、コロナ禍が収束した後に外国のパートナーと折衝を行い、海外展開を検討する。

## 重点支援を受けた事業や商材



我が国唯一の「超耐火性能を持ち、かつ、環境にやさしい天然素材である珪藻土」を用いた耐熱保護管メーカーとして、これまで25年以上にわたって安価で高品質な製品を安定的に供給してきた。珪藻土を用いた耐熱保護管は、溶融した鉄・鋼の温度を正確に、かつ、長時間安定して測定するために不可欠な重要部品として販売されており、特許化している。耐熱保護管に加えて、その周辺の顧客ニーズに応えるために開発してきた溶融金属浸漬型計測機器事業に進出している。



## 重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
3事業の事業戦略	企業全体としての安定的な発展を図るうえで3つの事業をバランス良く発展させていきたい。
耐熱保護管事業の事業拡大	国内事業を確実に維持しながら、伸びしろのある海外を対象として事業展開を図りたい。
溶融金属浸漬型計測機器事業の事業拡大	海外企業が国内外で高いシェアをもっているが、これを打破して、国内シェアを高めるとともに海外展開を図りたい。
耐熱塗料事業の事業立ち上げの検討	ビジネスパートナーと共同して事業化可能性の判断・見極めをしたい。
3事業を支える知財戦略	各事業ごとに知財ポートフォリオ(技術を守るために特許及び国際展開のための商標)を構築したい。
社内体制の整備	3つの事業を支える知財法務マネジメント等の社内体制の整備を図りたい。

## 重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
3事業の事業戦略の策定	耐熱塗料事業についても(小さいながらも)売上実績ができ、3つの事業をバランス良く発展させていく礎(基盤)ができた。	中小企業診断士
耐熱保護管事業の事業拡大の検討	これまでの特許に加えた工法や新素材も含め、角度を変えた視点での出願を行う方針とした。	中小企業診断士、弁理士
溶融金属浸漬型計測機器事業の事業拡大の検討	海外事業について、海外企業との協議を長期スパンで実施していくという方向付をした。	中小企業診断士、弁理士
耐熱塗料事業の事業立ち上げの検討	耐火製品の製造販売ビジネス及び受託加工ビジネスの事業化可能性を模索した。耐火製品については、売上実績ができた。	中小企業診断士、弁理士
3事業を支える知財戦略の策定	耐熱保護管事業は、これまでとは角度を変えた視点での発明の出願を行う方針とした。全社事業のブランディングを検討して商標を出願した。	弁理士
社内体制整備の検討	クローズ戦略のためのノウハウ管理の重要性を理解した。	中小企業診断士、海外知財PD

## 支援チーム紹介

リーダー専門家:中小企業診断士 西井 克己

活用専門家:弁理士、海外知財PD

知財総合支援窓口担当者:三重県知財総合支援窓口 村上 一仁

PO(プロジェクトマネジャー):松尾 誠剛